

令和2年
11/22
Sunday

Children's Piano Recital | 2020

式町ピアノスタジオ
TEL.03-6231-0221
(HP) <https://pianoriko.com>



children's piano recital

2020

古典派を弾こう

12時30分開場 13時00分開演

会場：千代田区立内幸町ホール

主催：式町ピアノスタジオ

千代田区立内幸町ホール

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-5-1



アクセス案内

《都営三田線》

内幸町A5番出口から後方の「内幸町交差点」信号を渡らず右折し、「国会通り」の右側にホール入口。徒歩5分

《東京メトロ銀座線》

新橋駅7番出口に向かい内幸町地下通路(E 内幸町 日比谷)より徒歩5分

《都営浅草線》

新橋駅7番出口に向かい内幸町地下通路(E 内幸町 日比谷)より徒歩5分

《JR》

新橋駅(日比谷口)より第一ホテル東京方面 広場より階段を下る。徒歩5分

《お車》

専用駐車場はありません。新幸橋ビル等周辺の時間貸駐車場(有料)をご利用ください。

ご挨拶

本年も皆様と発表の場をもてることを大変嬉しく思います。日々の成果を発揮できるように頑張っておりまして、最後まで応援いただければ幸いです。

今年の4月から暫くの期間学校が休校になり、当然ながら不安もありましたがお陰様で何かが後退してしまったということは無かったように思えます。周りの方々の明るさに励まされ、自身の選択も明確になり前向きな気持ちでいる事の大切さを再度認識しました。日頃、動きまわっている音楽家にとっては動きを止められ耐えるしかない本当に冬の様な数ヶ月でした。久しぶりに演奏を再開した時は、心の底から喜びを感じました。準備の大部分早い段階で緊張したため、本日の本番は楽しみに変わっていると良いなと思っております。

本年は1770年に生まれたベートーヴェン生誕250周年の記念すべき年です。ベートーヴェンという人物は苦悩から歓喜へとパワーを転換させた偉人です。後の解説でも書かせていただきましたが、ベートーヴェンの生きた時代背景にも閉塞感が漂っていたのだと様々な本に書かれています。ベートーヴェンの名言に Durch Leiden Freude 苦悩を突き抜けて歓喜に至れ! があります。

音楽、芸術は、商業的アートを除けば個人の意思が反映されるものです。現状を打破したいという望みを持ち活動したベートーヴェンに倣い、これからも継続していきたいと思ます。

本年のテーマ“古典派を弾こう!”の選曲にあたっては、古典派のピアノ・ソナタ集、ソナチネ集、小品集、学研 4期のピアノ名曲集1-4、音楽之友社 古典派を弾こうを中心に生徒の皆さまに紹介していき一人一人の感性と結びつくものが選ばれていきました。

古典派の作品の持つ形式美に魅かれたり、出てくるメロディーが気に入ったり、伴奏の和音が素敵だとか速度がいいのだとか数えきれないほどの理由が存在すると思います。選曲と一緒に立ち会っているのですが、ピアノを始めて間もないお子様こそとてもシンプルな回答をされるので不思議です。沢山の音楽を美的対象群として一本花を選ぶかの様に「綺麗!!」と表現し決めていかれるのです。音楽が美的情操を養う手助けになっていることを理解するとともに、個々の考える“美しさ”を認めこの発表会が進んでいくことを願っております。

Shikimachi Piano Studio
式町典子

古典派について

古典派とは一般的にはウィーンで活躍したハイドン・モーツァルト・ベートーヴェンの3人の作曲家(ウィーン古典派)を意味する。彼らの作品が19世紀から今日までコンサートで演奏され続けていることがウィーン古典派の高みの証であるといえるだろう。

よりフォーカスすれば、ハイドンの円熟期の作品〈ロシア弦楽四重奏曲 作品33〉(1781)がウィーンのアルタリア社から出版され、同時にモーツァルトが1762年から1781年まで(彼が6歳から25歳までの時期)家族とともに世界各地を巡業した後、1781年にウィーンで定住生活を始め自由音楽家として活動することとなる。そのため、1780年頃からベートーヴェンの円熟した作品が生み出される1820年頃までを盛期古典派と呼ぶ。

さてウィーンは音楽においてどの様な市場だったのだろうか。ウィーンはパリやロンドンでのような聴衆の成立は遅く、古典派の時代の宮廷はイタリア・オペラやジングシュピールを保護し、貴族たちが国を越えて作曲家を保護していた。オペラ事情は、1750年代からフランスに倣う風潮があり、オペラ・コミック(フランス語の喜歌劇)が好まれ、それらをドイツ語に翻訳したジング・シュピールが登場する。音楽好きの専制君主ヨーゼフ2世の音楽趣味の変化などもあり、1780年にはドイツ語オペラは終わりを告げる。モーツァルトのオペラ『後宮からの逃走』はウィーンにおけるドイツオペラ最後の作品である。その後はイタリア人作曲家によるイタリアオペラが舞台を独占するかたちとなった。1780年代にモーツァルトが発表したオペラ作品は、『フィガロの結婚』『ドン・ジョバンニ』『コジ・ファン・トゥッテ』の僅か3作品でありモーツァルトの活躍の場は決して大きくはなかった。

古典派の作曲家たちは声楽曲より交響曲・ピアノ協奏曲・弦楽四重奏曲などの器楽曲をさかんに作曲しそれらが演奏され、出版されてヨーロッパ各都市に普及することとなった。

ハイドンは、Hob.(ホーボーケン)作品整理番号、モーツァルトはKV.(ケッヘル)作品整理番号、ベートーヴェンは出版を意識して書いたので自身によるOp.(オーパス)出版順番号とゲオルグ・キンスキーとハンス・ハルムによるWoO.(ヴェルケ・オーネ・オープスツァール/ヴェーオーオー)作品整理番号、ウィリー・ヘスによるHess番号までがある。ベートーヴェンは、作品番号を管理した最初の人と言われている。

ベートーヴェンがウィーンに出た1792年は、既にフランス革命が勃発しており、絶対主義体制が次第に崩れて近代的な市民社会が形成されつつあった。この頃には音楽も広く市民社会層に迎えられる様になり一般市民向けの公開演奏会という形をとるようになった。ナポレオンの失脚後は新しい時代の空気を一度感じるも、後退が否めない閉塞感に苦しむ雰囲気 に包まれていた。《第9交響曲》はその時期の忍耐と苦闘の中から生まれてきた音楽なのである。

はじめにハイドンの存在無くしてウィーン古典派を語ることはできない。1732年にオーストリアのドナウ河畔、ハンガリー国境に近いローラウに車大工職人の長男に生まれたハイドンは、7歳でウィーンのシュテファン大聖堂の聖歌隊の一員となり9年間働いた後に変声期を過ぎ聖歌隊を去った。宮廷詩人のメスタージオと知り合い作曲家ポリボラの下に身を寄せ、この頃グルックやヴァーゲンザイルに会い1750年に本格的に作曲の勉強を始めた。C.P.E.バッハのクラヴィア・ソナタやフックスの対位法を学んだ。その後1761年からの生涯の大半ともいえる30年間でエステルハージ公爵家の宮廷音楽家としての活動に捧げた。

1770年頃からのハイドンの音楽は簡明な作風に変化していき、エステルハージ公爵家以外のために書いた曲も増えていった。ハイドン人気は上がり、先述の通り円熟期の作品が1781年にアルタリア社から出版され、ウィーンに住み始めたばかりのモーツァルトはハイドンの新しい書法に影響を受けた。104曲にものぼる交響曲には、《告别》《驚愕》《軍隊》《時計》などの通称を持つ多くの名曲があり、ハイドンは交響曲の父と称される。数えきれないほどの大作や名作を残しており、いずれの作品も明るくて屈託がなくユーモアに溢れた人間味豊かな作品である。1780年はフォルテピアノで作曲、1783年はピアノフォルテ、ハープシコード、1794-1795年はブロードウッドのピアノを使用楽器とした。1785年頃からモーツァルトとハイドンは親交を持ち、互いに尊敬しあう仲が続く。

モーツァルトは、1756年ザルトツブルクに生まれた。父レオポルトが綿密に計画したザルトツブルク時代の旅行(1962-1777)ルートには、当時＝前古典派時代に重要な都市のすべてが含まれていたという。旅行の目的は神童を披露するため演奏会の開催や就職探しが目的であった。オルガン・ハープシコード・フォルテピアノすべての楽器の名演奏家として歴史に残る。

ウィーン時代(1781-1891)は、自由音楽家として自身の予約演奏会のために継続的に多数のピアノ協奏曲を作曲、1785年にはハイドンに献呈された弦楽四重奏曲《ハイドン・セット》6曲を作曲、1786年にはオペラ『フィガロの結婚』と『ドン・ジョバンニ』、1788年には3大交響曲、1789-1790年には時のプロイセン国王フリードリヒ・ヴィルヘルムに献呈された《プロシヤ王セット》3曲を作曲した。その他五重奏曲・三重奏曲・二重奏曲・ヴァイオリンソナタなど様々なジャンルで作曲が行われる中ピアノが重要な役割を果たしている。モーツァルトの生きた時代はピアノの改良期と重なり、初期の作品はチェンバロ的な奏法が反映されているが、後期の作品は新しいピアノで弾くことを意識してソナタ・変奏曲・幻想曲・ロンドなどを作曲した。1775-1789年は所謂モーツァルト・ピアノ(5オクターブ)1781-1789年はシュタインヴァルター:アントン・ヴァルター製(5オクターブ)など使用楽器としている。愛らしく美しいメロディーはモーツァルトの音楽の特徴である。

1790年2月、神聖ローマ帝国(オーストリア)の皇帝ヨーゼフ2世が死去。ウィーンは喪に服しオペラの上演がいったい中止されることになった。イタリア人作曲家が多数活躍する中でモーツァルトを買っていたヨーゼフ2世に代る次の弟のレオポルト2世は音楽にはあまり興味を示さなかったといわれる。

1791年モーツァルトは、オペラ『魔笛』と『皇帝テイトの慈悲』、『クラリネット協奏曲イ長調』を作曲、『レクイエム』の作曲途中に病に倒れた。

1792年ハイドンがエステルハージ公爵家のニコラウス侯が他界したことにより楽団を解散し、年金を得て1796年(60歳)でウィーンへ移ってきたときには既にモーツァルトの姿はなく悲しみに暮れたという。ハイドンの77歳という長い生涯にモーツァルトは35年という短い生涯を重複させているに過ぎない。

ベートーヴェンは、1770年ドイツのボンに生まれた。ベートーヴェンの生涯と創作はボン時代(1770-1792)とウィーン時代(1792-1827)に大別される。ボンの選帝侯宮廷のテノール歌手だった父から音楽を教わり早くから音楽の才能を示した。幼少期はネーフェに師事しJ.S.バッハやC.P.E.バッハの音楽を学び才能を開花させた。

その後1792年にウィーンに出て、ハイドン、シェンク、アルブレヒツベルガーの下で対位法を2年半ほど学ぶ。ベートーヴェンのウィーン行きを支援したヴァルトシュタイン伯爵はマリア・テレジアの末息子である。「不断的努力によって、ハイドンの手からモーツァルトの精神を受け取りたまえ。」という言葉でベートーヴェンに向けて送っている。とても意味深い言葉だと感じる。ベートーヴェンは、ピアノ・ソナタ ハ長調(作品53)を献呈している。

ベートーヴェンのウィーン時代の創作は、前期(1792-1801)中期(前半1802-1808)中期(後半1808-1812)と後期(1813-1827)の4期に分けられる。

ハイドンが古典主義音楽の中心的課題のソナタ形式を確立したのは1781年の《ロシア弦楽四重奏曲》であると言われているが、それをモーツァルトが受け継ぎ、さらにスケールの大きいものに仕上げて人間的、精神的な深さを与えたのがベートーヴェンの仕事ではないだろうか。ピアノの新約聖書ともいわれるピアノソナタ32曲、1782年に作曲した3曲の選定侯ソナタ(ケルン選帝侯マクシミリアン・フリードリヒへ献呈)など主要なピアノ作品がある。ピアノソナタにおいて22-25番はエラール製の5オクターブ5度のピアノ、26番以降は6オクターブのピアノで作曲しており、楽器やオーケストラの発展とあわせてより豊かな表現が可能となった。またベートーヴェン自身が即興に大変長けていたということもあり、ピアノの楽譜には流麗なカデンツの部分が多くみられる。

ウィーンに出て演奏会が成功をおさめる中期1802年ごろには難聴の障害が現れ、「ハイリゲンシュタットの遺書」を書くことにつながる。Op.30のヴァイオリン・ソナタとOp.31のピアノ・ソナタはまさにその頃の作品である。どの様な音楽かというと唐突な転調やシンコペーションリズムの多用など不安定な雰囲気醸し出し、時々不吉ささえ感じるフレーズがあるかと思えば、無邪気なリズムへ移っていったり、符点リズムで爽快な世界へと導いてくれたり様々な表現がつけられている。遺書という呼び方がされているものの、実際は自分のこの症状と向き合い生き抜いていかなくては!芸術的能力を発揮仕切れる前に死ぬのは早すぎる!という決意の文章となっている。

翌年1803年からは「英雄様式期」と呼ばれる爆発的な創作期に入り、ロマン・ロランのいう“傑作の森”は1805年-1806年と考えられる。ピアノ・ソナタ《熱情》やピアノ協奏曲第4番、ヴァイオリン協奏曲Op.61を作曲。1810年は、ショパンとシューマンが生まれている。この時期にはバガテル《エリーゼのために》WoO59の他、不随音楽《エグモント》1812年には交響曲第7番を作曲している。

後期にはカンタータ《栄光の時》《静かな海と楽しい公開》《ミサ・ソレムニス》など作曲。ベートーヴェンの後期の様式は、古典派の集大成かつロマン派の先駆けとされ、ロマン派音楽と共有する傾向(急激な転調、テンポやテンポやテクスチャーの変化)と相反する傾向(対位法と変奏を好む場合)がある。

古典派の音楽は、それまでのバロック時代を受けて、ポリフォニーからホモフォニー音楽へ移ったことで生じる問題(長調と短調の組織をいかに定着させるか)を整理し、新しい表現へと変化を遂げた。ベートーヴェンは時代を味方につけ自身の音楽のスケールを拡げて古典主義を完成させた。

これまでは、3人の作曲家について書いたが、他にも古典派の時代に優れた作品を生み出した忘れてはならない作曲家がいる。以下、演奏を鑑賞する上での参考としていただけたら幸いです。

■ヴァンハル　Johann Baptist Vanhal　チェコ(1739-1813)
オルガニスト・作曲家。ウィーンで活躍した作曲家で人気があった。93曲の交響曲、各種楽器の協奏曲、ピアノ・ソナタ、オルガン曲　などを作曲した。ピアノ曲小品は当時家庭用音楽として愛好された。
■デュルク　Daniel Gottlob Türk　ドイツ(1750-1813)
オルガニスト・作曲家。ホミリウス、J・A・ヒラーに師事。ライプツィヒ大学卒。ハレ大学で音楽理論を教える。クラヴィア作品などを作曲した。
■クレメンティ　Muzio Clementi　イタリア(1752-1832)
ロンドンでピアニスト、作曲家として認められる。ヨーロッパ各地でも活躍、ピアノ改造にたずさわり、新しいピアノ奏法、音楽の様式の開拓者として大きな貢献をした。
■フンメル　Johann Nepomuk Hummel　オーストリア(1778-1837)
スロヴァキア生まれ。ウィーンでモーツァルトの家に住みハイドンにピアノを習い活躍する。ドイツ、スコットランド、デンマーク、オランダ、パリ、ベルギーと各地で演奏活動をし、ベートーヴェンと並ぶ最高のピアニストであった。
■ディアベリ　Anton Diabelli　オーストリア(1781-1858)
ミヒャエル・ハイドン(ヨーゼフ・ハイドンの弟)に作曲を学び、ウィーンでピアノ教師をしつつピアノ・ソナタ、ソナチネを作曲する。ディアベリ商会を経営し出版業でも成功した。

PROGRAM

本日演奏いたします曲目は、1曲目が共通課題の“古典派を弾こう!”に
準ずる時代(1780年から1820年頃の盛期古典派)の作品を中心とする曲目。2曲目が自由曲という構成です。

《こどもピアノ入門コース》 13時00分～

01

- ♪ D.G.Türk/Cheerful boy (デュルク/元気な少年)
- ♪ D.Kavalevsky/35 Easy Pieces for Piano『Children's Adventures』Op.89 no.1 First Piece
(カバレフスキー/『35のこどものためのやさしい小品』第1曲 はじめての曲)

02

- ♪ W.A.Mozart/Magic Flute Fantasy (モーツァルト/魔法の鈴)
- ♪ F.Liszt/Grandes études de Paganini no.6 “Theme and variations” A minor
(リスト/パガニーニ大練習曲集 第6曲 “主題と変奏” イ短調)

03

- ♪ D.G.Türk/Tiny Dancer (デュルク/小さなバレリーナ)
- ♪ French Folk Song/Frère Jacques (フランス民謡/フレールジャック)

04

- ♪ German folk song/Butterfly (ドイツ民謡/ちょうちょう)
- ♪ E.Elgar/Salut d'amour Op.12 (エルガー/愛のあいさつ)

05

- ♪ J.B.Vanhal/Sonatine in C Major Op.41-11st Mov. (ヴァンハル/ソナチネ ハ長調 第1楽章)
- ♪ B.Berlin/A monkey climbing a tree (ベルリン/木にのぼったサル)

06

- ♪ W.A.Mozart/Deutsche Tänze K.605-3 in C Major (モーツァルト/ドイツ舞曲 ハ長調)
- ♪ J.N.Hummel/『60 Übungen=Stücke』No.45 Scherzo in A Major (フンメル/『60の練習曲』より第45番 スケルツォ イ長調)

07

- ♪ D.G.Türk/A Pure Heart (デュルク/きれいな心)
- ♪ Streabog(Jean-Louis Gobbaerts)/Song of the Birds (ストリーボック/小鳥のうた)

08

- ♪ Foreign songs/The elephant (外国の曲/ぞう)
- ♪ Martha Mier/Ladybug boogie (マーサ・ミアー/てんとう虫のブギ)

09

- ♪ F.J.Haydn/Symphony No.94 “Surprise” Hob.l :94 (ハイドン/交響曲 第94番 “びっくりシンフォニー”)
- ♪ E.A.MacDowell/『10 Woodland Sketches』Op.51-1 “To A Wild Rose”
(マクダウェル/『森のスケッチ』第1曲 “野ばらに寄せて”)

10

- ♪ W.A.Mozart/Allegro in F Major K.1C (モーツァルト/アレグロ ヘ長調)
- ♪ M.Mier/March of the Gnomes (マーサ・ミアー/こびとのマーチ)

11

- ♪ J.N.Hummel/Rondo in C Major Op.52-6 (フンメル/ロンド ハ長調)
- ♪ R.Schumann/“Mai, Lieber Mai, Bald bist du wieder da!” (シューマン/ “愛しい5月よ…もうすぐお前はやってくる”)

《きっずピアノコース 小学1・2年》 13時40分～

12

- ♪ W.A.Mozart/Menuett in C Major K.6 (モーツァルト/メヌエット ハ長調)
- ♪ Robert Bernard Sherman/Movie『Mary Poppins』“Supercalifragilisticexpialidocious”
(R.B.シャーマン/映画『メリー・ポピンズ』より“スーパーカリフラジリスティック・エクスペリアドーシャス”)

13

- ♪ L.V.Beethoven/Sonatine in G Major Anh.5, 1st Mov. (ベートーヴェン/ソナチネ 第5番 ト長調 第1楽章)
- ♪ L.V.Beethoven/Sonatine in G Major Anh.5, 2nd Mov. (ベートーヴェン/ソナチネ 第5番 ト長調 第2楽章)

14

- ♪ F.J.Haydn/Menuett in F Major (ハイドン/メヌエット ヘ長調)
- ♪ F.Chopin/Nocturne Op.9-2 (ショパン/夜想曲 作品9-2)

15

- ♪ C.Czerny/First Piano Lessons (100 Recreations) “Thème Anglais”
(ツェルニー/初歩者のためのレクレーション “イギリスのうた”)
- ♪ Learning to Play Book 3 Kangaroo-'s play tag (ラーニング・トッ・プレイ ブック3 カンガルーのおいかっこ)

16

- ♪ J.N.Hummel/Petit Waltz (フンメル/小さなワルツ)
- ♪ A.Diabelli/Allegretto in C Major (ディアベリ/アレグレット ハ長調)

17

- ♪ L.V.Beethoven/12 Deutsche Tänze No.9 in E flat Major WoO 13 (ベートーヴェン/12のドイツ舞曲 第9曲 変ホ長調)
- ♪ Alexander Tikhonovich Grechaninov/『Dew Drops Op.127a』Monkey's Dance
(アレクサンドル・ティホノヴィチ・グレチャニノフ/『露のしずく 作品127a』お猿のダンス)

18

- ♪ L.V.Beethoven/Turkish March (ベートーヴェン/トルコ行進曲)
- ♪ LiSA/Gurenge (LiSA/紅蓮華)



19

- ♪ D.G.Türk/Sonatine in C Major 3rd Mov. “Sorgenlose Heiterkeit” (テュルク/ソナチネ ハ長調 第3楽章 “快活に”)
- ♪ D.Shostakovich/『Dance of the Dolls』No.2 Gavotte Op.91c (ドミトリー・ショスタコーヴィチ/『人形の舞曲』第2曲 ガヴォット)

20

- ♪ L.V.Beethoven/12 Deutsche Tänze No.1 in D Major WoO 13 (ベートーヴェン/12のドイツ舞曲 第1曲 ニ長調)
- ♪ F.Chopin/Valse No.9 in A flat Major “Valse de l'Adieu” Op.69-1 (ショパン/ワルツ第9番 変イ長調 “告別” 作品69-1)

21

- ♪ F.J.Haydn/Allegro in F Major (ハイドン/アレグロ ヘ長調)
- ♪ D.Kabalevsky/6 Variations on a Ukrainian Folksong Op.51-5 (カバレフスキー/ウクライナ民謡による6つの変奏曲 作品51-5)

22

- ♪ M.Clementi/Sonatine in G Major Op.38-1,1st Mov. (クレメンティ/ソナチネ ト長調 作品38-1 第1楽章)
- ♪ A.I.Khachaturian/『Children's Album book2』3.Ostlicher Tanz Oriental Dance (アラム・ハチャトゥリアン/『こどものアルバム第2巻』第3曲 東洋の踊り)

23

- ♪ L.V.Beethoven/Minuet in G Major WoO 10-2 (ベートーヴェン/メヌエット ト長調)
- ♪ E.Rohde/Marionette (ローデ/あやつり人形)

《きつずピアノコース 小学3年》
14時40分～

24

- ♪ W.A.Mozart/Rondo in D Major KV 15d (モーツァルト/ロンド ニ長調)
- ♪ G.F.Handel/Harpsichord suite No.5 in E Major, HWV 430 IV. Air mit Variationen “The Harmonious Blacksmith” (ヘンデル/ハープシコード組曲 第5番 ホ長調 第4楽章 エアと変奏 “調子の良い鍛冶屋”)

25

- ♪ L.V.Beethoven/Piano Sonata No.20 in G Major Op.49-2,1st Mov. (ベートーヴェン/ピアノ・ソナタ 第20番 ト長調 作品49-2 第1楽章)
- ♪ F.Schubert/Moment Musical Op.94-3 D.780-3 (シューベルト/楽興の時 第3番)

26

- ♪ A.Diabelli/Sonatine in G Major, Op.151-1 3rd Mov. (ディアベリ/ソナチネ ト長調 作品151-1 第3楽章)
- ♪ R.Schumann/Albumblätter Op.124 No.16 “Schlummerlied ” (シューマン/音楽帳 作品124-16 “子守唄”)

27

- ♪ W.A.Mozart/Rondo in D Major K.485 (モーツァルト/ロンド ニ長調)
- ♪ Joe Hisaishi/Summer (久石 譲/サマー)

28

- ♪ L.V.Beethoven/Écossaise in G Major WoO 23 (ベートーヴェン/エコセーズ ト長調)
- ♪ Kenshi Yonezu/Paprika (米津玄師/パプリカ)



29

- ♪ W.A.Mozart/Piano Sonata No.11 in A Major, K.331 3rd Mov. “Rondo alla Turca” (モーツァルト/ピアノソナタ第11番 イ長調 第3楽章 “ロンド・トルコ風”)
- ♪ R.Schumann/Albumblätter Op.124 No.5 “Phantasietanz” (シューマン/音楽帳 作品124-5 “ファンタジーダンス”)

30

- ♪ L.V.Beethoven/Sonatine in F Major Anh.5, 2nd Mov. (ベートーヴェン/ソナチネ ヘ長調 第2楽章)
- ♪ F.Mendelssohn/6 Kinderstücke Op.72-1 in G Major (メンデルスゾーン/6つのこどものための小曲集 作品72 第1曲 ト長調)

31

- ♪ W.A.Mozart/Sonatine in C Major, 2nd Mov. (モーツァルト/ソナチネ ハ長調 第2楽章)
- ♪ Harold Arlen/“Over the rainbow” from The Wizard of Oz (ハロルド・アーレン/オズの魔法使いより“虹の彼方に”)

32

- ♪ L.V.Beethoven/Bagatelle in D Major, Op.119-3 “a l'Allemande” (ベートーヴェン/バガテル ニ長調 作品119-3 “アルマンド風に”)
- ♪ F.Chopin/Waltz in A minor KK.IVb-11 CT224 (ショパン/ワルツ 第19番 イ短調 遺作)

33

- ♪ H.Lichner/Sonatine in C Major Op.4 No.1,1st Mov. (リヒナー/ソナチネ ハ長調 作品4-1 第1楽章)
- ♪ A.Ellmenreich/Spinnerlied (エルメンライヒ/紡ぎ歌)

34

- ♪ L.V.Beethoven/Bagatelle in A minor “Für Elise” WoO 59 (ベートーヴェン/バガテル イ短調 “エリーゼのために”)
- ♪ R.Schumann/Album für die Jugend Op.68 No.17 Kleiner Morgenwanderer (シューマン/こどものためのアルバム 作品68 第17曲 朝の散歩)

《きつずピアノコース 小学4年～高校1年》
16時00分～

35

- ♪ L.V.Beethoven/3Piano Variations “Nel cor più non mi sento” in G Major, WoO 70 (ベートーヴェン/3つの変奏曲 ト長調)
- ♪ W.Gillock/Album for children “In old Vienna” (ギロック/こどものためのアルバム “ウィンナー・ワルツ”)

36

- ♪ W.A.Mozart/Piano Sonata No.15 in C Major K.545, 1st Mov. (モーツァルト/ピアノソナタ 第15番 ハ長調 第1楽章)
- ♪ G.Lange/ Blumenlied (Flower Song) Op.39 (ランゲ/花の歌)

37

- ♪ L.V.Beethoven/Piano Sonata No.8 “Pathétique” in C minor, 2nd Mov. Op.13 (ベートーヴェン/ピアノソナタ第8番 ハ短調 “悲愴” 第2楽章)
- ♪ C.Deussy/Suite Bergamasque I . Prélude (ドビュッシー/ベルガマスク組曲 第1曲 前奏曲)

38

- ♪ L.V.Beethoven/Rondo in G Major Op.51-2 (ベートーヴェン/ロンド ト長調 作品51-2)
- ♪ F.Mendelssohn/Rondo capriccioso in E Major Op.14 (メンデルスゾーン/ロンド・カプリッチョーソ ホ長調 作品14)

